

「業務核都市」の現状と今後

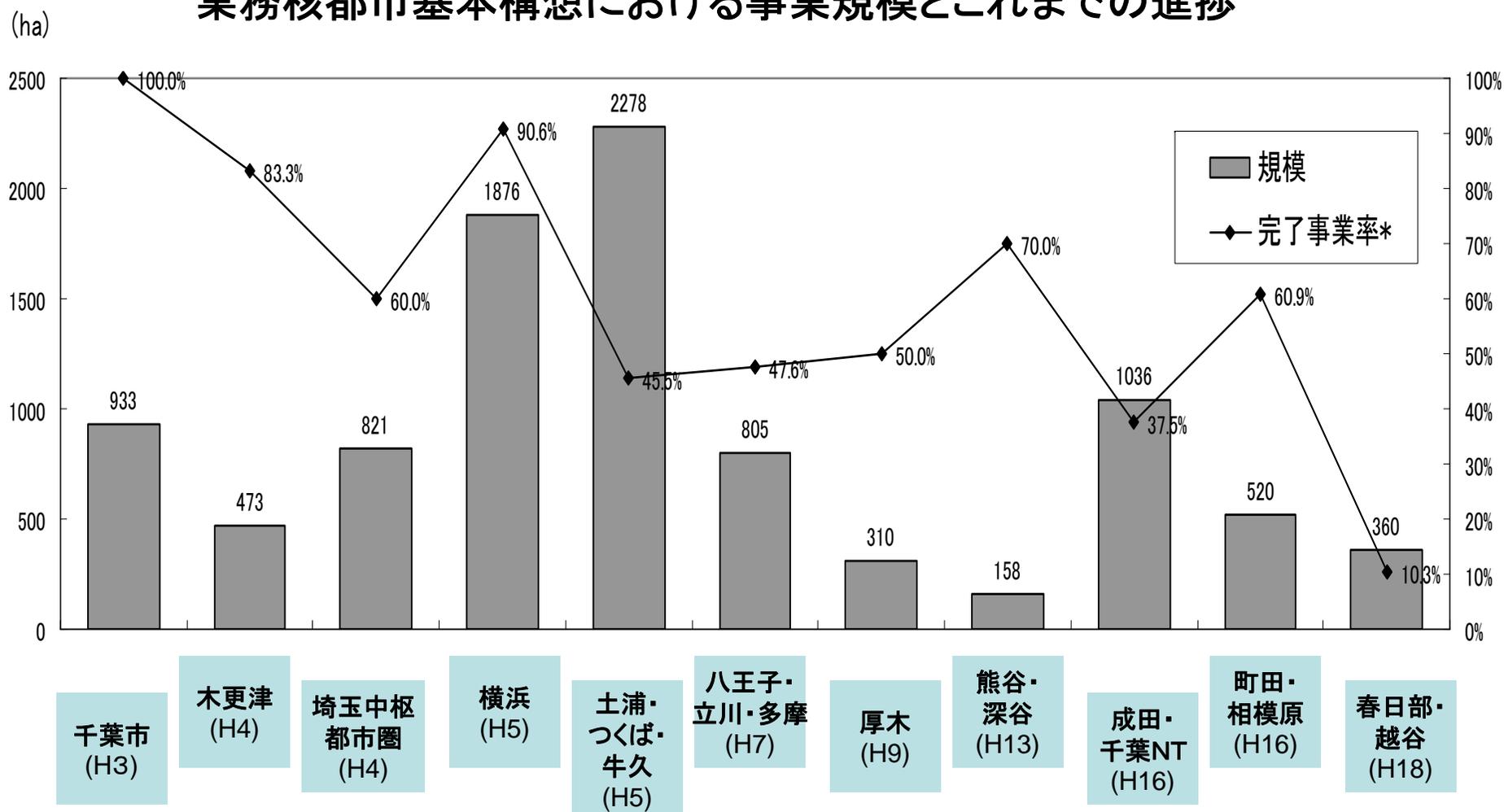


国土交通省国土計画局
大都市圏計画課

首都圏における分散型ネットワーク構造と業務核都市



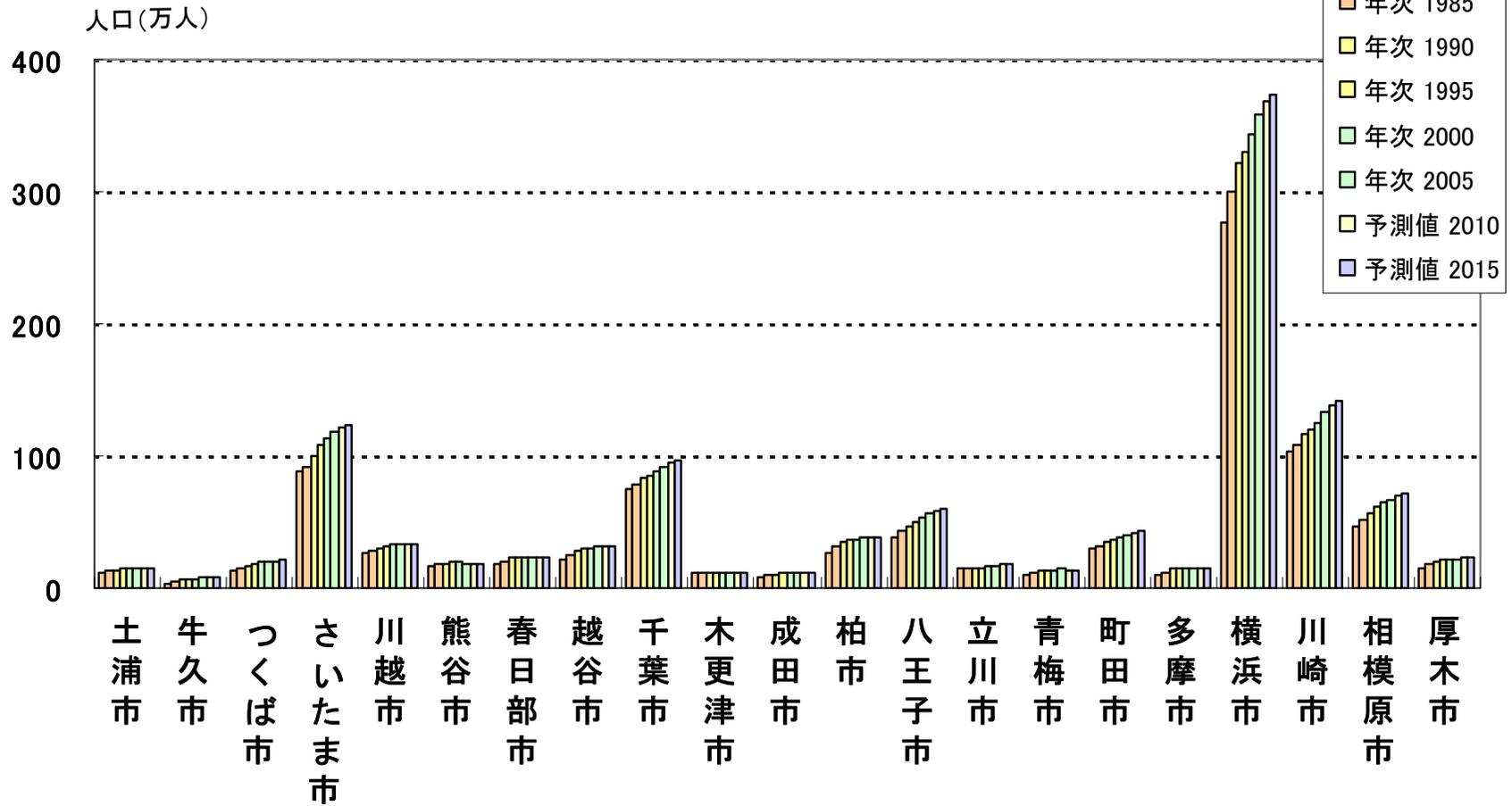
業務核都市基本構想における事業規模とこれまでの進捗



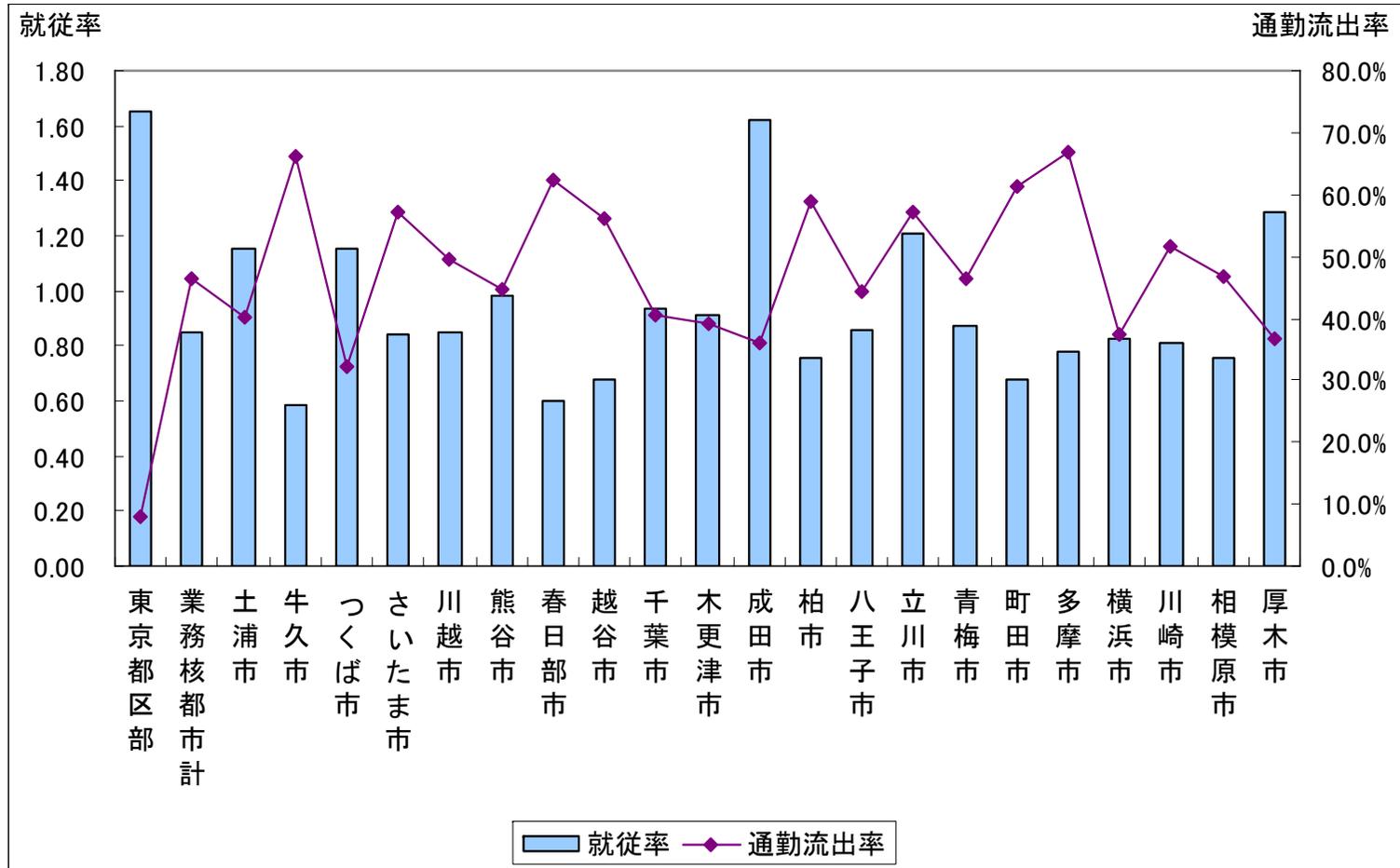
業務核都市へのアンケート調査(2006)による。

- ・事業規模は、対象事業となっている整備地区の面積
- ・完了事業率＝完成事業数／対象事業数
- ・核都市下の年次は、基本構想策定年

業務核都市の人口規模と推移

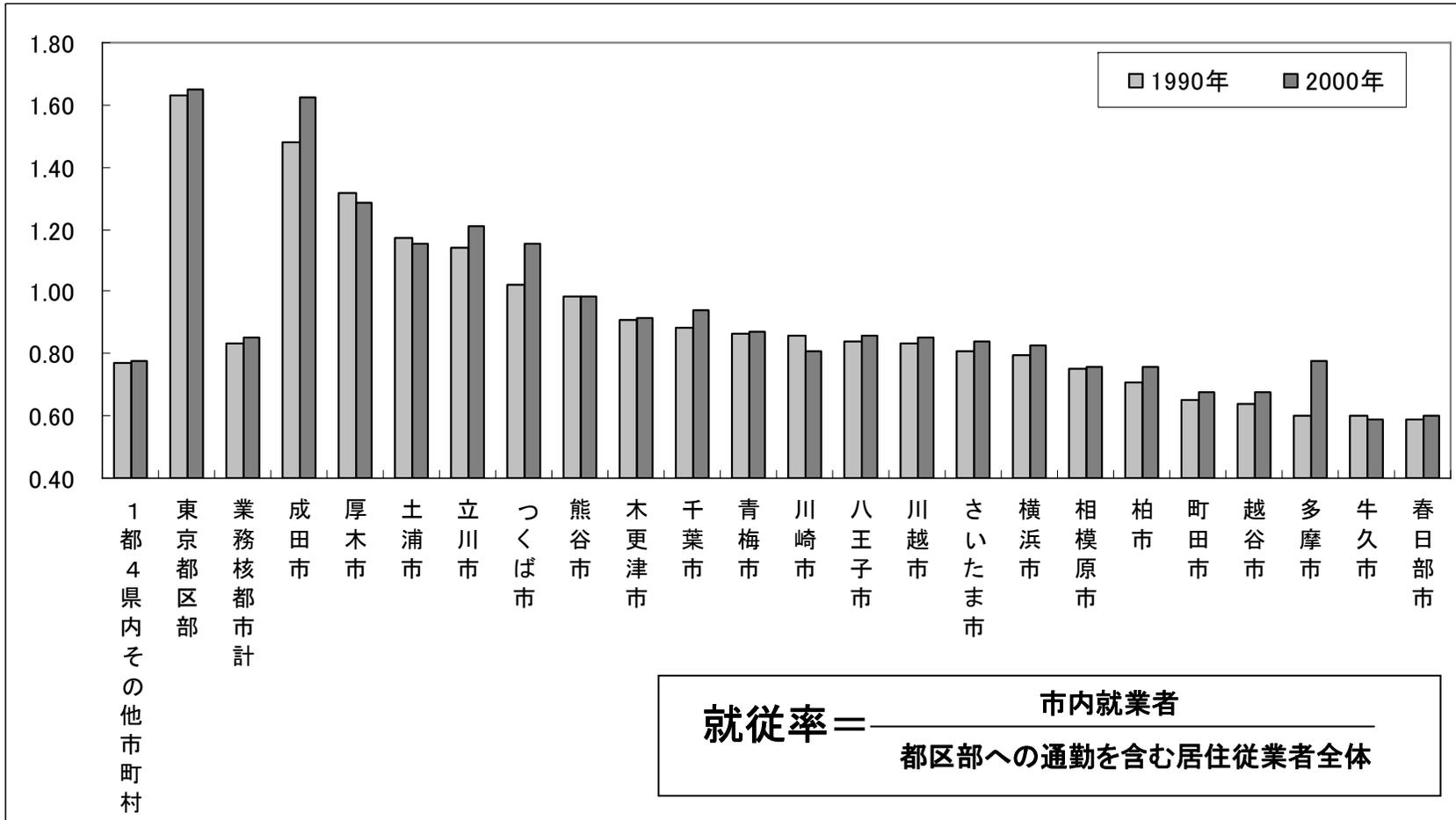


業務核都市における就従率・通勤流出率(2000年)

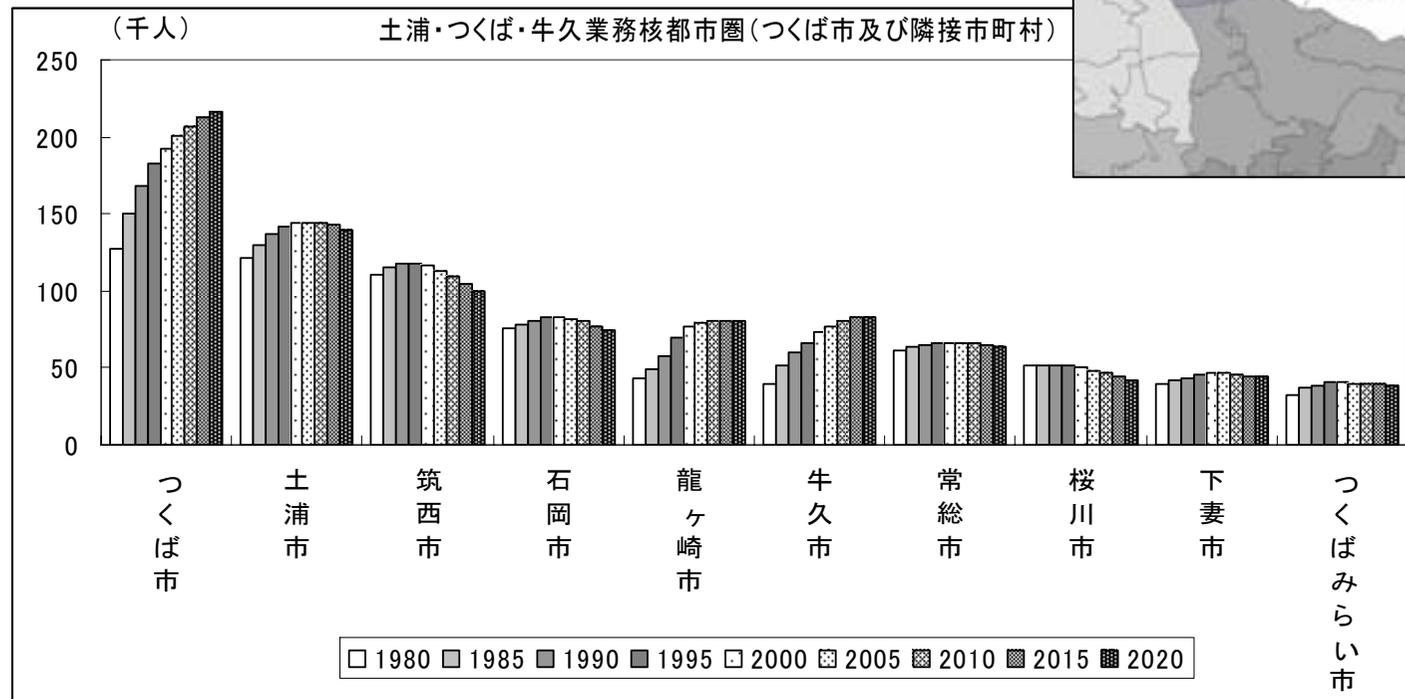
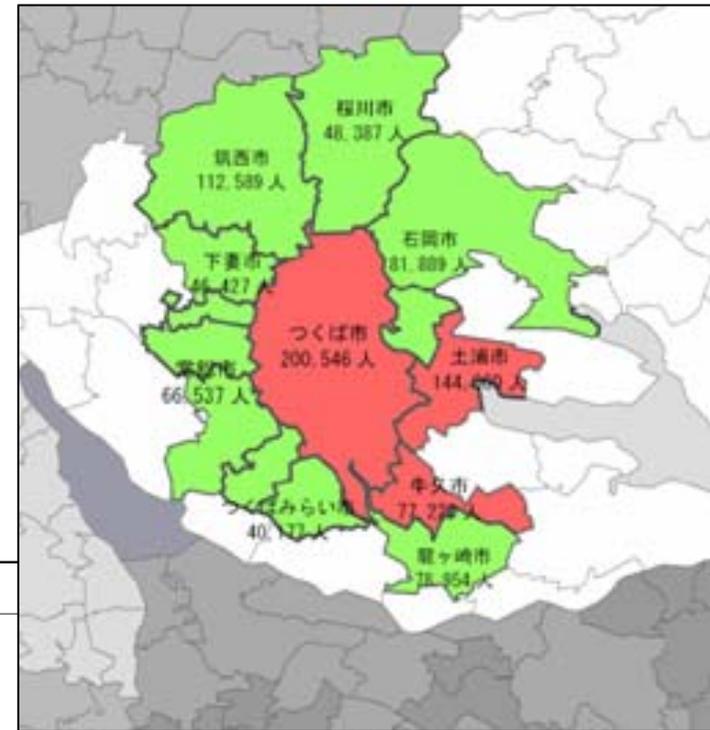


$$\text{就従率} = \frac{\text{市内就業者}}{\text{都区部への通勤を含む居住従業者全体}}$$

業務核都市における就従率の変化(1990~2000年)

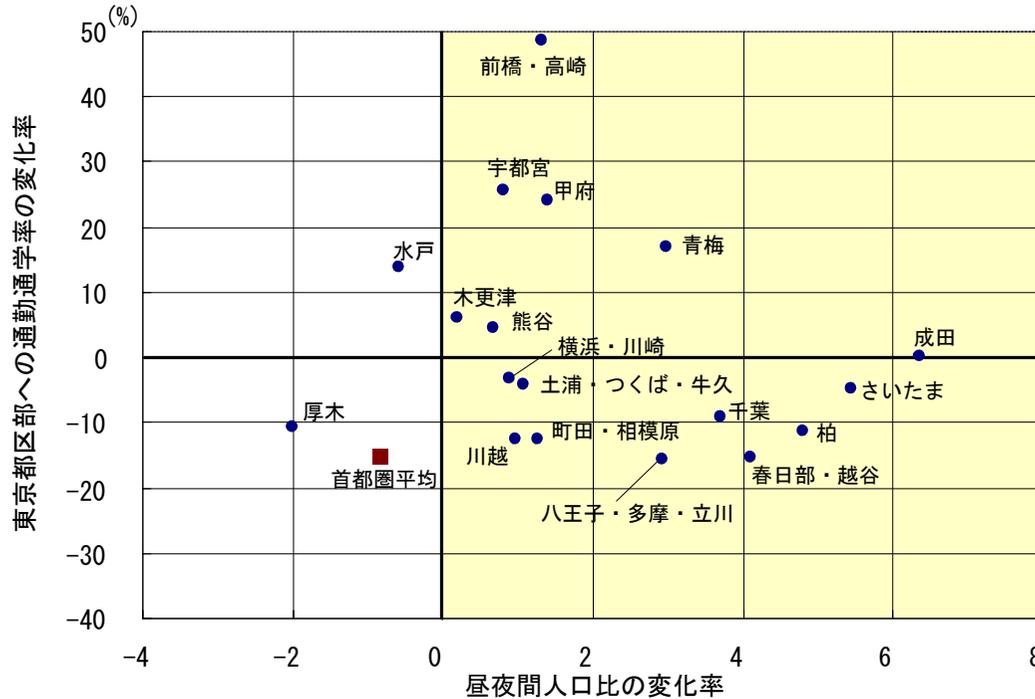


隣接自治体との人口変動比較に見る 業務核都市の拠点性の変化



業務核都市における拠点性

広域連携拠点の昼夜間人口比と東京都区部への通勤通学率の変化(平成12年/平成2年)



注：昼夜間人口比＝昼間人口／夜間人口

区部への通勤通学率＝区部への通勤通学者数／全通勤通学者数

資料：「国勢調査」(総務省)により国土交通省国土計画局作成

・多くの核都市で昼間人口比が増加

・事業所数のシェア等の間接的指標についても、拠点性の高まりを示す。

・一方、「業務」に関する集積の評価難しく、実際にも持続的なビジネスエリアが形成されたかは疑問